

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 入谷中学校 校長 小出 泰隆

## 1 学校教育目標

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新などで予測が困難な時代の中、一人一人が持続可能な社会の担い手として、新たな価値を生み出すことを目指して、これを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、公共の精神、伝統や文化の尊重を踏まえ、進んで社会の発展に尽くすことのできる人間を育てるために次の目標を設定する。

- 1 自ら学び、深く考える人
- 2 きまりを守り、思いやりのある人
- 3 体をきたえ、ねばり強い人

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館を活用し、本を探したり読んだりする楽しさを感じさせ、心豊かな生徒を育成する。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に調べ学習・課題解決学習に取り組む生徒を育成する。
- ③ 学校図書館を活用し、学習したことをまとめたり、自分の考えを表現したりできる生徒を育成する。
- ④ 読書に親しむ時間「読書タイム」を設けて、読書習慣や、教科学習に必要な読書力を身につけさせる。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 7,903 冊（蔵書基準冊数 6,080 冊）／ 蔵書率 130%（元年度末 129%）									
	② 新規購入図書 252 冊 / 廃棄図書 183 冊 / 増減冊数 69 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.7%	2.5%	9.4%	9.0%	9.2%	3.4%	1.9%	7.8%	3.6%	48.4%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12時30分～17時30分まで（前年度からの変更なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.4 冊（前年度：11.4 冊）									
	③ 学校図書館利用率 3838 %（前年度：5197 %）									

## （令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 8,170 冊（蔵書基準冊数 6080 冊）／ 蔵書率 134%									
	② 新規購入図書 336 冊 / 廃棄図書 69 冊 / 増減冊数 267 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	2.7%	9.6%	9.1%	9.1%	3.4%	1.8%	8.1%	3.7%	48.3%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：12時30分～17時30分（前年度からの変更なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 6.5 冊（前年度末：6.4 冊）									
	③ 学校図書館利用率 3423 %（前年度末：3838 %）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 生徒全員対象に「読書の時間」を実施し、読書に親しませ、習慣化させる。 ② 学校図書館を活用し、自分に必要な図書や資料を探す能力を育成する。 ③ 図書の借り方や扱い方を知り、正しく活用する能力や態度を育てる。
------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 昼休みや放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して読書ができる。 ② 課題解決のために、必要に応じて図書や資料を探し出すことができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。	① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸出し平均冊数 10%増（前年比） ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率 75%以上 ③ 学校図書館オリエンテーションの学年生徒の参加率 100%

目標達成状況
① 第1学年の図書貸出し平均冊数は目標値よりやや少なかった。 ② 学年生徒の調べる学習コンクールの参加率を増やすための取り組みが必要である。 ③ 学校図書館のオリエンテーションには参加率 100%だった。

<b>第2学年</b>	① 生徒全員参加の「読書タイム」を実施し、読書に親しませ、習慣化を図る。 ② 学校図書館を活用し、自分に必要な図書や資料を選ぶ能力を育てる。 ③ 課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力を育てる。
<b>今年度の成果目標</b> ① 昼休みや放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、課題解決のために必要な図書や資料を自ら選ぶことができる。 ③ 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探求活動を進めることができる。	<b>達成基準</b> ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸出し平均冊数10%増（前年比） ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 読書や探求活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
<b>目標達成状況</b>	
① 第2学年生徒の一人当たり年間貸出し平均冊数は目標値に達した。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率を増やすための取り組みが必要である ③ 読書タイムの実施回数と探求活動の実施回数は目標値に達した。	
<b>第3学年</b>	① 生徒全員参加の「読書タイム」を実施し、読書に親しませ、習慣化を図る。 ② 読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする態度を育てる。 ③ 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、言語能力や表現力を育成する。
<b>今年度の成果目標</b> ① 昼休みや放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 自らの探究活動を深めていけるように図書や資料を選び、活用することができる。 ③ 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探求活動を進めることができる。	<b>達成基準</b> ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸出し平均冊数10%増（前年比） ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率75%以上 ③ 読書や探求活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
<b>目標達成状況</b>	
① 第3学年生徒の年間貸出し平均冊数は目標値よりやや少なかった。 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率を増やすための取り組みが必要である。 ③ 読書タイムや探求活動の実施回数は前年度並だった。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を受後1ヶ月程度で完了する。 ② 廃棄図書を夏休み頃までに確定させ、蔵書構成比を念頭に置いた図書購入計画を立案する。	① 新規購入図書の受入れや登録は1ヵ月程度で完了できた。 ② 廃棄図書の選定は遅れがちであった。生徒や教員のリクエストに配慮して図書を購入したため、蔵書構成比はあまり変化しなかった。
<b>【学校司書との連携・協働】</b> ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員との積極的な連携・協働をすすめる。 ② 学校図書館だよりや、図書の展示・掲示の工夫・充実を図、生徒の読書活動のいっそうの活性化を図る	① オリエンテーションの実施や生徒が行うブックトークに関して、支援員との協働を図った。 ② 昨年度と同様に、学習発表会へ図書委員会として参加し、読書活動についての展示発表を行った。
<b>【その他】</b> ① 年度末の図書返却率が100%になるように取り組む。 ② 区立図書館の「調べ学習用図書」の配送サービスを積極的に活用する。 ③ 生徒会図書委員会の生徒の活動を活性化し、ポップやポスターを作成し、生徒の読書活動の活性化を促す。	① 年度末の図書返却率は100%だった。 ② 「調べ学習図書」の配送サービスを利用することができた。 ③ 生徒の読書活動の活性化を目標に、「読書活動生徒表彰」を昨年度に引き続き実施した。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ① 本年度は読書タイムの実施が行事準備などで少なくなったことから、全学年の図書貸出し回数が相対的に少なかった。
- ② 第3学年は放課後の自学自習で図書館を利用する生徒が多かった。
- ③ コロナ禍で実施できなかった行事が緩和され、魚沼自然教室や修学旅行、鎌倉校外学習の事前学習を実施することができた。
- ④ 小規模校の強みを生かして、生徒の個別の傾向を把握し、読書に関する支援活動を強化したい。
- ⑤ 昨年度よりたくさんの生徒や教職員のリクエストをもとに、新規購入図書を選定することができた。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ① 12月の学習発表会での図書委員会の展示は好評だった。今後は、生徒主体で活動ができるようにしていきたい。
- ② 図書館活動に関する生徒表彰は生徒の読書活動促進に有意義だった。
- ③ 今年度から始めた入館票への記入は今後も継続した方がよい。
- ④ 生徒の読解力向上のため、学校図書館の機能をいっそう活用してほしい。